

注意板〈23〉は遊歩道登り口から休憩所にかけてすべり注意に関するもの、休憩所付近と高松稲荷からの遊歩道に散歩中のフンの後始末に関するもの、音無山吊橋付近に歩行中禁煙・山火事注意に関するもの、稜線上のロープウェイ跡地と高松稲荷登り口付近にヤマユリ等採集禁止に関するもの、水路沿いに危険を記したものがある。

解説板〈24〉は日の出の見える展望台に「音無山園地」と「利用心得」、山腹の展望台に「公益的機能の高い森林」と「土砂流出防備保安林」（平成7年度（1995）設置）、トイレ付近に「音無山公園」、「利用心得」、「保健保安林」（平成6年度（1994）設置）、遊歩道登り口付近に「急傾斜地崩壊危険区域」を記したものがある。

土砂流出防備保安林標識〈25〉は音無山駐車場からの遊歩道沿いにある。

井戸〈26〉はトイレ脇にある。

電力計〈27〉、電柱〈28〉もトイレ付近にある。

配電支柱〈29〉は遊歩道登り口付近とトイレ付近にある。

消火器格納箱〈30〉、防火水槽〈31〉は遊歩道の各所に設置されている。

・安全確保工作物

石積み〈32〉は遊歩道登り口からトイレまでの遊歩道山側にある。

vii 音無山 【位置図P 73 音無山地区】

・工作物

新二見トンネル〈33〉は昭和45年（1970）に築造され、一般国道42号の自動車専用トンネルとして使用されている。

旧二見トンネル〈34〉は新二見トンネルの海側に位置し、新二見トンネル開通後は歩行者用トンネルとして使用されている。

街路灯〈35〉、電柱〈36〉、配電支柱〈37〉、電話柱〈38〉は旧二見トンネル東側の道沿いにある。

注意板〈39〉（トンネル内照明故障の為通行注意）は旧二見トンネル両側の入口にある。

落石防護柵〈40〉は平成20年（2008）、一般国道42号沿いの民家が山裾に接するあたりに設置された。

### 3 名勝の周辺環境を構成する要素

※本文中の構成要素〈数字〉は位置図上の番号と対応

(1) 三重県名勝の指定地とその近辺を構成する要素【位置図P 87 三重県名勝指定地包含地区】

① 社会的要素

i 町並み

○旅館街

・建築物

明治 38 年（1905）江村の海岸沿いにあるマツ林を開拓して新道が作られ、潮湯治の旅館が急遽進出し、二見興玉神社の表参道として旅館街が形成された。また、日露戦争の傷病兵の療養先ともなった。

木造旅館〈1〉 は明治から昭和初期に建築されたものも多い。

木造土産物屋・飲食店〈2〉、木造住居〈3〉 には切妻造りや入母屋造りの建物が見られるが、比較的近年に建築されたり改装されたりしたものが多い。

非木造旅館〈4〉、非木造土産物屋〈5〉、非木造住居〈6〉 も増加し、木造建築物に交じり存在している。

・工作物

堀〈7〉 は戦前からの大きな木造旅館等に見られる。

石畳舗装〈8〉、カラー電柱〈9〉 は平成 14 年度（2002）から開始された街なみ環境整備事業により整備された。

(2) 景観計画区域重点地区を構成する要素【位置図 P 89 景観計画区域重点地区】

① 歴史的要素

i 石碑

○道標

鳥羽街道の道標〈1〉 が伊勢市二見体育館前にある。明治 20 年（1887）江村が旧鳥羽街道と立石（夫婦岩）への分岐点（根上り松付近）に建立した。昭和 17 年（1942）新道建設に伴い移転し、昭和 56 年（1981）道路整備のため撤去され、現在地へ移された。

○句碑

冬嶺星の句碑〈2〉 は二見浦駅前にある。

『宿日傘 借里てみやげの もの買ひに』

夏、宿の日傘を差して歩く、二見に来た旅人を詠んでいる。解説碑が並立する。

為田只青の句碑〈3〉 は伊勢市二見公民館前にある。

『声遠し 飛びいく鶴は 波乃うゑ』

二見の静かな波の上を低く滑空する鶴の美しさ、その声が遠くから響いてくる様子を詠んでいる。

○案内板

二見文学碑マップ〈4〉 の案内板が伊勢市二見公民館前にある。

ii 遺跡

○荘北遺跡

ごく一部であるが、古墳時代から江戸時代にかけての遺跡である荘北遺跡〈5〉 が当地区に含まれている。

② 社会的要素

i 町並み

○旧二見道

旅館街の新道が出来るまでは、この道が使われていた。

昔ながらの木造住居〈6〉が残っているが、非木造住居〈7〉も見られる。

ii 公共施設

・建築物

J R二見浦駅〈8〉は明治44年(1911)国鉄二見浦駅として誕生し、平成5年(1993)現在の駅舎が完成した。

伊勢市二見体育館〈9〉は昭和51年(1976)二見町の町民体育館として完成し、現在に至っている。

伊勢市二見公民館〈10〉は昭和53年(1978)二見町公民館として完成し、現在に至っている。

伊勢市二見ダイサービスセンター〈11〉は平成13年(2001)二見町ダイサービスセンターとして完成し、現在に至っている。

伊勢市二見生涯学習センター〈12〉は平成16年(2004)二見町生涯学習センターとして完成し、現在に至っている。

伊勢警察署二見交番〈13〉は、古くは明治10年(1877)の巡査派出所に遡る。昭和24年(1949)二見町警察署が完成し、その後は派出所から交番へと姿を変え、現在に至っている。

(3) 名勝追加指定地として検討する範囲を構成する要素【位置図P 91 名勝追加指定検討地区】

① 自然的要素

i 地形・地質

○砂浜海岸

海岸砂丘(二見砂丘)〈1〉は今一色海岸に断片的に残存している。

○沖積層(平地)

砂・礫層〈2〉を主とするが、海浜堆積物も存在し、風食礫である三稜石も見られる。

ii 植生

○高城浜

クロマツの防風保安林〈3〉が広がり、補植、育樹も行われている。

② 歴史的要素

i 御塩浜

・行事

毎年7月、土用の日から、汲みあげた海水を天日で濃縮し塩水をつくる採鹹〈4〉が行われる。鹹水は、樽に移し替えられ、御塩殿へ運ばれる。

ii 高城神社

○高城神社〈5〉

元は今一色小学校校舎の裏地に祀られており、明治42年（1909）村社二見神社に合祀されたが、昭和29年（1954）分離復帰して現在地に移転建立された。水神や秋葉の神も合祀している。

### iii 石碑

#### ○文化財

中村左洲筆塚〈6〉は高城神社境内にある。中村左洲は今一色の漁師の家に生まれ、幼少より絵を好み、伊勢の画家磯辺百鱗に弟子入りし、全国の博覧会、美術展等に毎年出品して褒賞を受けた。筆塚は昭和31年（1956）門下生及び世話人らが師の偉業を慕って建立し、平成7年（1995）二見町の文化財として指定（現在伊勢市指定文化財）された。

#### ○歌碑

一権彌宜慶彦〈7〉の歌碑も高城神社境内にある。

『夕霧の ゆふべの風の 吹きはらひ 月澄みのぼる 高城の浜』

夕べの風が霧をはらい澄み渡った空に月がのぼっていく高城の浜の情景を詠んでいる。

解説碑が並立する。

### iv 遺跡

#### ○砲台跡

高城神社と高城保育園の間の標高8.5mの地に、文久3年（1863）に津藩主藤堂高猷により築造された砲台〈8〉の一つがあった。幕末の海岸防備のため築造されたもので、当時は砲台の北辺の先端部は海に接していた。宅地造成のため形状は半壊した。

### ③ 社会的要素

#### i 海浜

##### ・工作物

海岸護岸〈9〉は昭和34年（1959）の伊勢湾台風後に築かれ、昭和39年（1964）に完成した。

##### ・産業

のり養殖〈10〉は主要な水産業として、高城浜の沖で見られる。

## 第Ⅱ章引用・参考文献

二見町役場『二見町史』1988

伊勢市二見総合支所『わが町二見』2006

林野庁『松くい虫被害変動要因対策推進調査（その2）松くい虫被害変動防止システム調査報告書』2000・2001・2002

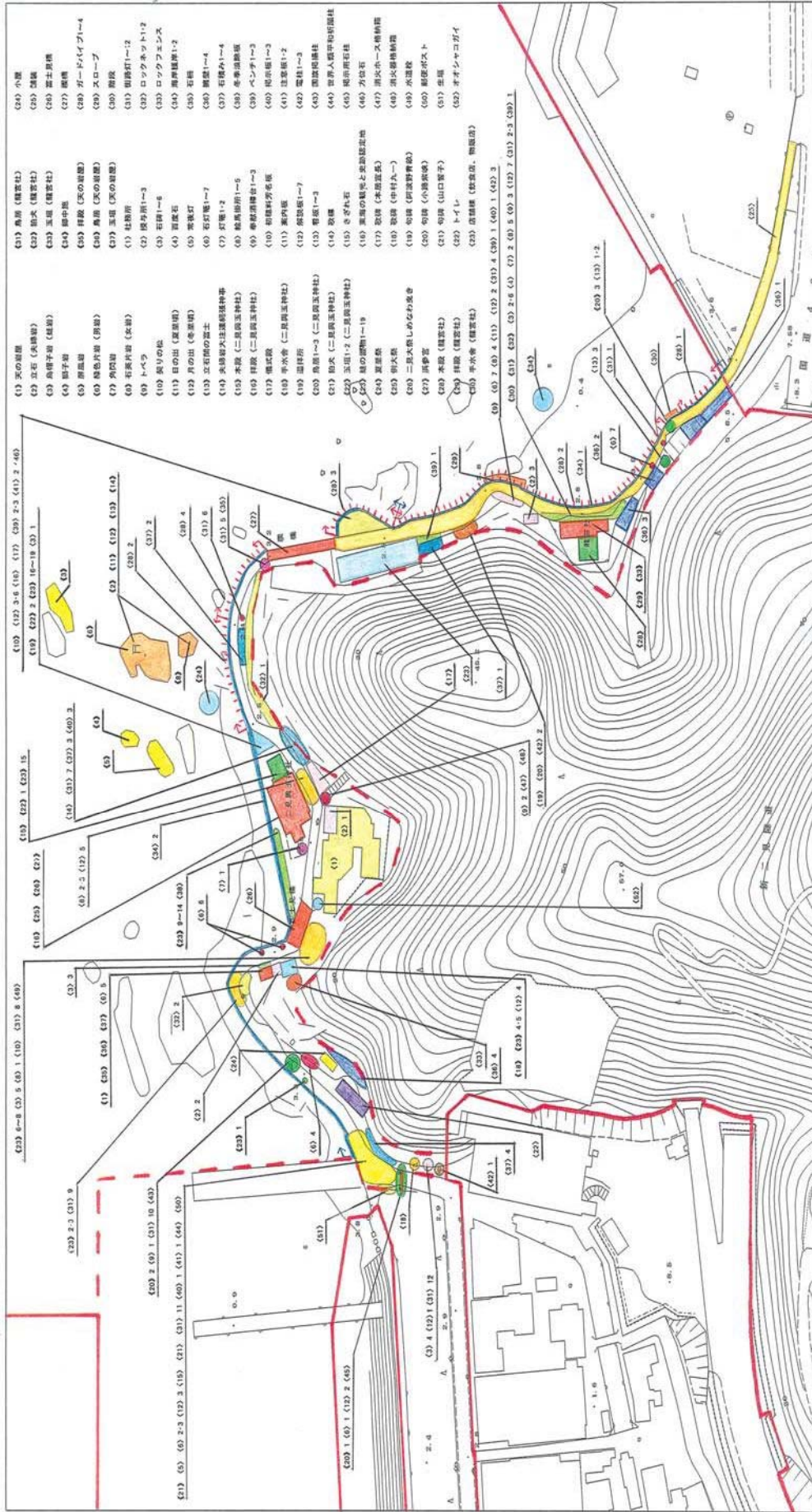
三重県『三重県レッドデータブック 2005 動物』2006

角川書店『角川日本地名大辞典 24 三重県』1991

立石崎地区 1



# 立石崎地区2



0 1 2 3 4 5 6 7 x10m

【位置図P 50 立石崎地区1】



《1》立石崎



《2》興玉神石



《3》藻刈神事

【位置図P 51 立石崎地区2】



《1》天の岩屋



《2》立石(夫婦岩)



《3》烏帽子岩(蛙岩)



《4》獅子岩(右)・《5》屏風岩(左)



《6》緑色片岩(男岩)



《8》石英片岩(女岩)



《9》トベラ



《10》契りの松



《11》日の出(夏至頃)



《12》月の出(冬至頃)



《13》立石間の富士



《14》夫婦岩大注連縄張神事

【位置図P 51 立石崎地区2 (続き)】



《15》本殿(二見興玉神社)



《16》拝殿(二見興玉神社)



《17》儀式殿



《18》手水舎(二見興玉神社)



《19》遥拝所



《20》鳥居 1 (二見興玉神社)



《20》鳥居 2 (二見興玉神社)



《20》鳥居 3 (二見興玉神社)



《21》狛犬(二見興玉神社)



《22》玉垣 1 (二見興玉神社)



《22》玉垣 2 (二見興玉神社)



《23》蛙の置物 1



《23》蛙の置物 2



《23》蛙の置物 3



《23》蛙の置物 4 (水(願)受け蛙)



【位置図P 51 立石崎地区2 (続き)】



《23》蛙の置物 5 (満願蛙)



《23》蛙の置物 6



《23》蛙の置物 7



《23》蛙の置物 8



《23》蛙の置物 9



《23》蛙の置物 10



《23》蛙の置物 11



《23》蛙の置物 12



《23》蛙の置物 13



《23》蛙の置物 14



《23》蛙の置物 15



《23》蛙の置物 16



《23》蛙の置物 17



《23》蛙の置物 18



《23》蛙の置物 19

【位置図P 51 立石崎地区2 (続き)】



《24》夏至祭



《25》例大祭



《26》二見大祭しめなわ曳き



《27》浜参宮



《28》本殿(龍宮社)



《29》拝殿(龍宮社)



《30》手水舎(龍宮社)



《31》鳥居(龍宮社)



《32》狛犬(龍宮社)



《33》玉垣(龍宮社)



《34》郷中施



《35》拝殿・《36》鳥居・《37》玉垣(天の岩屋)

【位置図P 51 立石崎地区2 (続き)】



〈1〉社務所



〈2〉授与所1 (二見興玉神社)



〈2〉授与所2 (天の岩屋)



〈2〉授与所3 (龍宮社)



〈3〉石碑1 (日の神・皇居遥拝所)



〈3〉石碑2 (龍宮社)



〈3〉石碑3 (天の岩屋)



〈3〉石碑4 (二見興玉神社)



〈3〉石碑5 (海王大和国)



〈3〉石碑6 (妙奉・八大竜王大神)



〈4〉百度石



〈5〉常夜灯



〈6〉石灯笼1 (鳥居前)



〈6〉石灯笼2 (参道)



〈6〉石灯笼3 (参道)



〈6〉石灯笼4 (参道)



〈6〉石灯笼5 (天の岩屋)



〈6〉石灯笼6 (天の岩屋前)



〈6〉石灯笼7 (裏参道)



〈7〉灯笼1 (拝殿)



〈7〉灯笼2 (龍宮社)



〈8〉絵馬掛所1 (天の岩屋)



〈8〉絵馬掛所2 (二見興玉神社)



〈8〉絵馬掛所3 (二見興玉神社)

【位置図P 51 立石崎地区2 (続き)】



〈8〉絵馬掛所4 (龍宮社)



〈8〉絵馬掛所5 (龍宮社)



〈9〉奉献酒樽台1 (参道)



〈9〉奉献酒樽台2 (二見興玉神社)



〈9〉奉献酒樽台3 (龍宮社)



〈10〉初穂料芳名板



〈11〉案内板 (夫婦岩から表参道へ)



〈12〉解説板1 (二見興玉神社由緒)



〈12〉解説板2 (二見浦と浜参宮)



〈12〉解説板3 (夫婦岩)



〈12〉解説板4 (二見蛙・手水の仕方)



〈12〉解説板5 (駕籠たて松の潮湯跡)



〈12〉解説板6 (契りの松)



〈12〉解説板7 (龍宮社)



〈13〉看板1 (二見興玉神社)



〈13〉看板2 (八大龍王大神)



〈13〉看板3 (二見興玉神社・八大龍王大神)



〈14〉歌標 (鎮魂のうた)



〈15〉さざれ石



〈16〉東海の観光と史跡認定地



〈17〉歌碑 (本居宣長)



〈18〉歌碑 (中村九一)



〈19〉句碑 (阿波野青畝)



〈20〉句碑 (小路紫峽)

【位置図P 51 立石崎地区2 (続き)】



〈21〉句碑(山口誓子)



〈22〉トイレ



〈23〉店舗棟(飲食店・物販店)



〈24〉小屋



〈25〉舗装



〈26〉富士見橋



〈27〉禊橋



〈28〉ガードパイプ 1



〈28〉ガードパイプ 2



〈28〉ガードパイプ 3



〈28〉ガードパイプ 4



〈29〉スロープ



〈30〉階段



〈31〉街路灯 1



〈31〉街路灯 2



〈31〉街路灯 3



〈31〉街路灯 4



〈31〉街路灯 5



〈31〉街路灯 6



〈31〉街路灯 7



〈31〉街路灯 8



〈31〉街路灯 9



〈31〉街路灯 10



〈31〉街路灯 11

【位置図P 51 立石崎地区2 (続き)】



〈31〉街路灯12



〈32〉ロックネット 1



〈32〉ロックネット 2



〈33〉ロックフェンス



〈34〉海岸護岸 1



〈34〉海岸護岸 2



〈35〉石柵



〈36〉擁壁 1



〈36〉擁壁 2



〈36〉擁壁 3



〈36〉擁壁 4



〈37〉石積み 1



〈37〉石積み 2



〈37〉石積み 3



〈37〉石積み 4



〈38〉冬季波除板



〈39〉ベンチ 1



〈39〉ベンチ 2



〈39〉ベンチ 3



〈40〉掲示板 1 (ポスター)



〈40〉掲示板 2 (ポスター)



〈40〉掲示板 3 (記念写真)



〈41〉注意板 1 (神域)



〈41〉注意板 2 (行場)

【位置図P 51 立石崎地区2 (続き)】



〈42〉電柱 1



〈42〉電柱 2



〈43〉電柱 3



〈43〉国旗掲揚柱



〈44〉世界人類平和祈願柱



〈45〉揭示用石柱



〈46〉方位石



〈47〉消火ホース格納箱



〈48〉消火器格納箱



〈49〉水道栓



〈50〉郵便ポスト

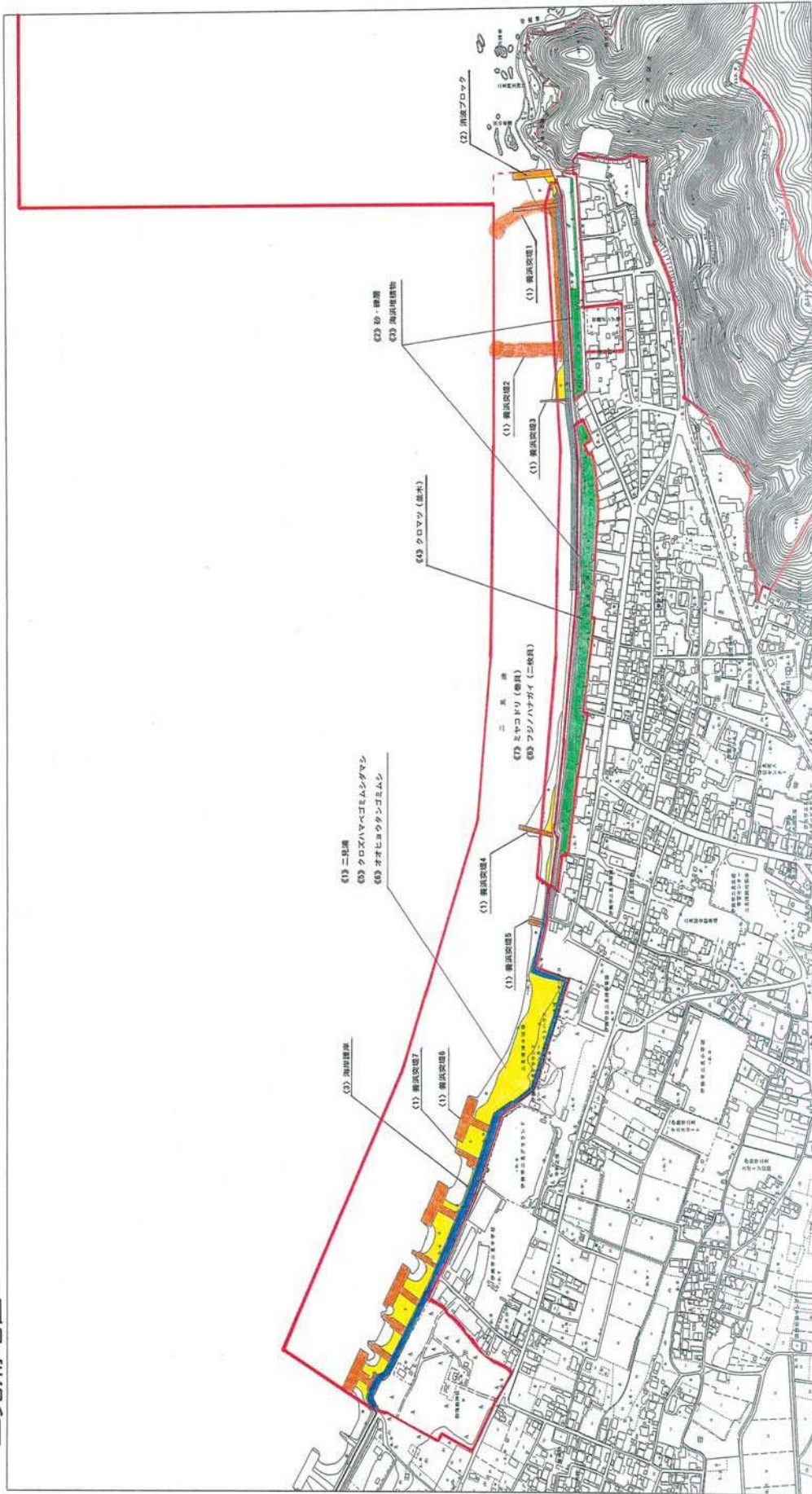


〈51〉生垣



〈52〉オオシャコガイ

二見浦地区1



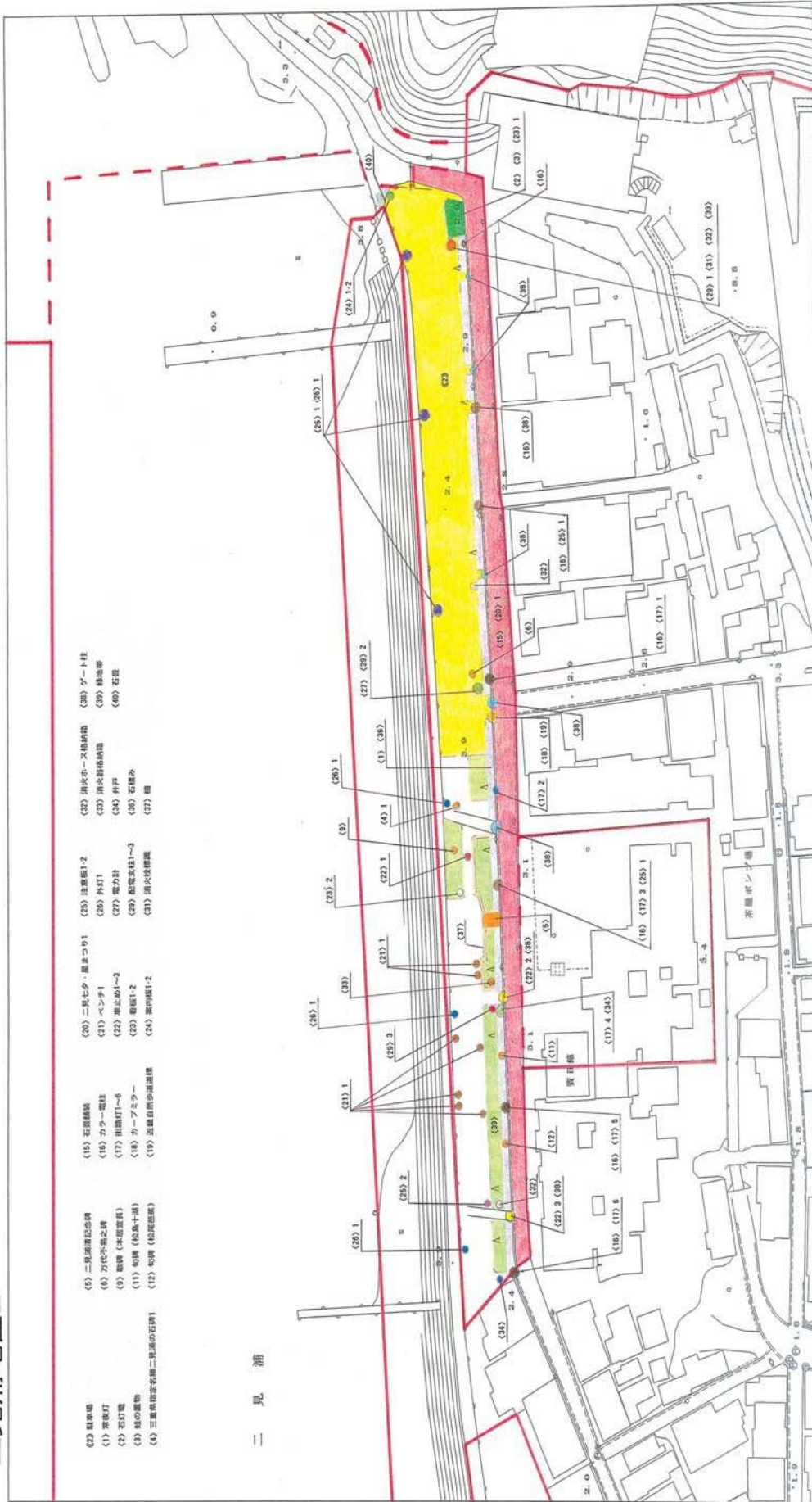


# 二見浦地区2



- (6) 二見浦歴史資料
- (7) 万代字聖之碑
- (8) 龍碑 (本屋裏)
- (11) 町碑 (松高十道)
- (12) 町碑 (松高源)
- (15) 石製縁石
- (16) カラー電柱
- (17) 田舎灯1~6
- (18) カーブミラー
- (19) 瓦葺自由歩道屋根
- (20) 二見七夕・屋まこり
- (21) ペンチ
- (22) 車止め1~3
- (23) 看板1~2
- (24) 案内板1~2
- (25) 注釈板1-2
- (26) 外灯
- (27) 電力計
- (29) 配電支柱1~3
- (31) 消火栓保護
- (32) 消火ホース格納箱
- (33) 消火器格納箱
- (34) 柵
- (35) 石積み
- (36) 柵
- (37) 柵
- (38) ゲート柱
- (39) 縁石等
- (40) 石段

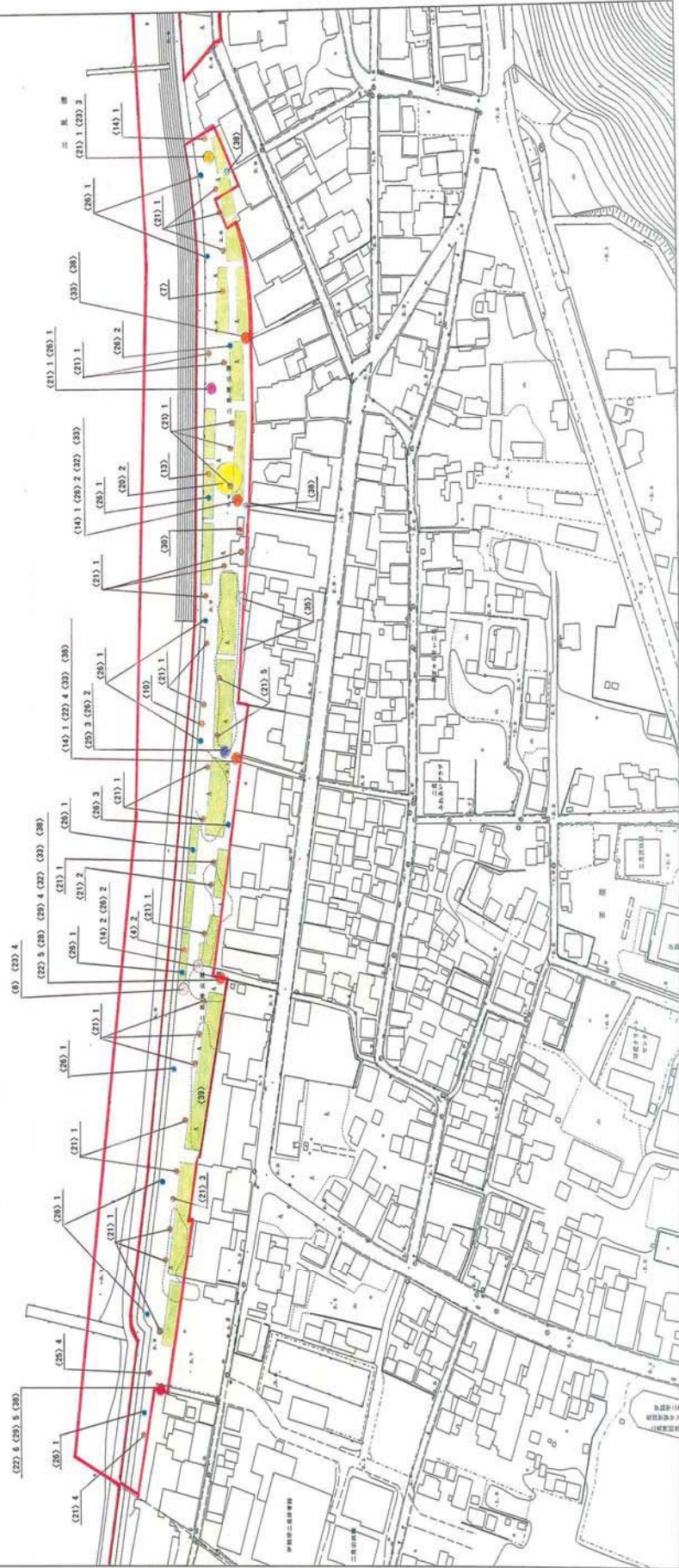
二見浦



# 二見浦地区3



- (4) 三重県指定名物二見菜の花産地 (13) 句碑 (橋本橋二)
- (7) 日本の原産品産地指定産地 (14) 二見興玉神社外陣碑1・2
- (8) 船碑 (舟行)
- (10) 船碑 (橋本橋の北)
- (22) 禁止ふりー5
- (23) 看板3・4
- (24) 注連紙3・4
- (25) 外灯1〜3
- (26) 電柱
- (27) 記念史料4・5
- (28) 防火水龍柱
- (29) 防火ホース格納庫
- (30) 防火設備計画
- (31) 防火設備計画
- (32) 防火設備計画
- (33) シェアワー
- (34) テート柱
- (35) 緑地帯



二見浦地区4



- (1) 河川
- (2) 田舎
- (3) スイッチャウト1-2
- (4) 田舎

